

# 広報 じんけん

～ 出会い 気づき 発見 ～

人権擁護都市宣言・非核平和都市宣言のまち

編集・発行／川西市人権推進課  
〒666-8501 川西市中央町12-1  
☎ 072-740-1150  
FAX 072-740-1151

## 12月4日から10日は人権週間です

※12月10日は世界人権デー

～だれもが幸せを感じるまちをめざして～

### 人権擁護都市宣言

人は生まれながらにして自由かつ平等であり、人間として生きる権利を有しています。  
私たちは、日本国憲法のもとにすべての人々が尊ばれ、基本的権利が保障される住みよい社会が一日も早く実現することをめざしてきました。  
それにもかかわらず、いまなお残る、さまざまな人権侵害の事実を見つめるとき、いまこそ市民一人ひとりが力を合わせ、すべての人々の人権が擁護され、だれもが誇れる明るく心豊かな川西市を築いていかなければなりません。  
私たちは自らの人権意識を高め、人権尊重の輪を広げていくため、ここに市民の総意のもと、川西市を「人権擁護都市」とすることを宣言します。

平成3年(1991年)2月28日

川西市

～人権擁護都市宣言のまち～  
川西市では、平成3年に人権擁護都市宣言を行い、だれもが幸せを感じるまちをめざして、人権行政をすすめています。  
本年4月、川西市人権行政推進プランの第3次改定版を策定し、同プランに基づき、さまざまな人権課題の解決に向け、人権啓発事業を中心に取り組んでいます。  
しかし最近、社会では「新型コロナウイルス感染症」に関連した差別や人権侵害が新たに生じています。市では、これらの差別や偏見に関する人権啓発もすすめていきます。  
「恐れるべきはウイルスであり、人ではありません」

## 人権週間映画会 12月10日(木) 入場無料

※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。※当日先着順 入れ替えなし

【ところ】みつなかホール 【定員】各480名

ある少年の告白... ①10:30～ ②15:40～

砂の器... ①13:00～ ②18:00～

ある少年の告白 (日本語吹替え 字幕付)  
2018年 アメリカ 115分

砂の器 1974年 日本 143分



アメリカを驚愕させた告白  
その衝撃の事実とは?  
本当の自分を見つめたとき、  
真実の愛に辿りつく。  
愛する息子へ両親が勧めたのは、  
同性愛を治す、危険な矯正セラピーだった。  
原作は、NYタイムズ紙により  
ベストセラーに選ばれるなど全米で  
大きな反響を呼んだ衝撃の実話であり、  
圧倒的な人間ドラマである。



日本映画の金字塔!  
原作者・松本清張をして「原作を超えた」と言わしめた、同名小説。  
監督:野村芳太郎監督、脚本:橋本忍・山田洋次で映画化した社会派サスペンスであり、日本映画界に燦然と輝く傑作。  
一背景に横たわる日本における感染症患者差別の問題をもえぐる作品—

(c)2018 Unerased Film. All Rights Reserved.

「砂の器」デジタルリマスター ©1974橋本プロ・松竹

※当日は、新型コロナウイルス感染症対策にご協力をお願いします。また、状況によっては、会の中止または、開催方法を変更する場合があります。その場合は、市ホームページでお知らせします。HPIはこちら⇒



令和2年度

## 第11回 人権写真コンテスト in かわにし

入賞作品紹介  
テーマ「コロナ禍」



優秀賞

「忘れられない日」

得津 未紗さん(火打)

コロナ禍で緊急事態宣言が発令された日、市内の病院で娘を出産しました。忘れられない誕生日となりました。

※今年度は、他に佳作が1作品ありました。

### 「川西市パートナーシップ宣誓制度」



川西市では、「一人ひとりの個性やさまざまな文化の多様性を認め合い、すべての人が自らの尊厳について認識し、自己実現の権利を認め合う」、そのような社会を築いていくことを基本理念として、「川西市人権行政推進プラン」(※p6参照)を策定しており、その中で性的マイノリティの人々への偏見や差別の解消に向けての事業に取り組んでいます。その取り組みの一つとして、「川西市パートナーシップ宣誓制度」を導入しています。

11月1日現在、本市では、2組のパートナーの方が宣誓されています。市長から、パートナーのお2人に、「パートナーシップ宣誓書受領書」を交付しました。  
※制度の詳細についてはこちら⇒



身元調査等によるプライバシーなどの権利侵害を防ぎ、「だれもが幸せを感じるまち」を実現するための、『本人通知制度』に是非ご登録ください。

※川西市の現況(R2.11.1現在)

●登録者数 567件 ●本人通知件数 233件(うち本人の代理人からの請求 176件)

<4



次の空欄(○の中)をうめてください。

- ① 令和2年(2020年)は、戦後○○年です。
- ② 今年度の人権週間映画で上映される日本映画の題名は、「○の器」
- ③ 川西市で今年8月1日導入した制度は、「パートナー○○宣誓制度」

※クイズ正解者には、図書カード(1,000円分)を5人に差しあげます。(正解者多数の場合は抽選。図書カードの発送をもって発表にかえさせていただきます。)

【応募方法】ハガキに①クイズの答え、②住所、③名前、④年齢、⑤電話番号、⑥今回の広報じんけん興味のある記事と感想を書き、下記あて先まで

【あて先】〒666-8501 川西市人権推進課「クイズ」係 【締切】令和2年12月14日(月)消印有効

毎月第3金曜日は、川西市の人権デーです





今年で戦後75年を迎えました。市では、戦争の記憶を風化させないために「あなたの記憶を聞かせてください」と題し、戦争体験談や戦時中の記憶・思い出を募集した結果、22名の市民の方から作品の応募がありました。今回の紙面では、そのうち3編をご紹介します。

※全22編は、市ホームページに掲載しています。



## 学徒動員と大阪大空襲の記

匿名 (89歳)

あれからはや75年、激しく揺れ動いた昭和の時代も遠くなって、あのつらい戦争体験も世の移ろいと共に風化されつつあります。あの悲惨な体験を思い出して生かして平和の尊さをかみしめ、二度と戦争の無い事を祈ります。

昭和16年12月8日、太平洋戦争が始まりました。当時小学校6年の私は頑張って府立市岡女学校に入学しました。その喜びも束の間で、森下仁丹工場を初め、枚方の香里園造兵廠製造所(陸軍造兵廠香里製造所)に、詳しいことは聞かされずに学徒動員されました。当時14才の女学生でした。戦争も激しくなり親元を離れて粗末な寮に入り朝早くから交代で夜勤もある砲弾造りにと、お国の為、みんな命がけで働きました。ひっきり無しに空襲警報が出てB29の編隊が飛来して爆弾を落します。その度に製作中の砲弾を箱毎に胸に抱きかかえて二人ずつ防空壕に逃げ込みました。今思えば自殺行為ですが、当時は命より爆弾が大事でした。3月の大阪大空襲では、B29の大編隊が空をおおい爆弾と焼夷弾を次々と雨の様に落とすので、大阪の空が真赤に焼けるのが香里の丘の寮から良く見えました。『お父さん、お母さん、早く逃げて下さい。』とどうぞ、命だけは助かって下さい。』と友達どうし抱き合って泣きあかしました。



3月の大阪大空襲のあくる日、眠れない夜を過ごした夜勤が終わって非番で帰ろうとして驚きました。大阪方面は二面が焼け野が原で電車も動かず、西九条の私の家も焼け落ちて梓組だけです。『お母さん!!お母さん!!』と何度呼んでも返事が無く、とうとうあきらめて仕方なく祖母の住む森の宮方面へ向かいました。京橋、森の宮の惨状はすさまじく目をおおう悲惨な光景です。電車は焼けて動かず、此の世の物とは思えない焼け跡を、祖母は大丈夫かと祖母に逢いたい一心で遠い道のりを一人で歩きました。やっと家にたどり着くと足腰の弱った祖母は杖をつき乍ら、顔中涙でくしゃくしゃになって『よかった。恐ろしかったね。』と抱き合せて喜びました。祖母は一人息子を戦争にとられ北支で戦死した知らせを聞いてからすっかり元気を無くして痩せ細ってしまいました。

色々近況をおしゃべりし乍ら大切に取っておいた玉子を出して私の好物だった玉子丼を作ってくれました。お父さんお母さんは、3月の空襲で、命からがら岡山の親類を頼って疎開した時に祖母も一緒にとさそわれたけど、『ひよっとして息子が帰って来る様な気がして、此の家から離れられへんのやで。』と泣き乍ら話してくれました。もう遅いから泊って行きなさいと云われたけど、香里の寮に今日中に戻らないと先生や友達もみんなが心配するので焼け野が原の恐ろしい光景の中を一人で歩いて寮に帰りました。

※北支…中国北部地方

## 「亡くなった妹は戦争の犠牲者」

永山 夫至子 (82歳)

私は1938年(昭和13年)2月11日に、大阪市港区八幡屋宝町で生まれました。1944年(昭和19年)、国民小学校1年生です。登校すると先生が、昨日はお友達が二人亡くなったと、毎日報告です。私の家の庭には防空壕が有り、空襲警報が鳴ると家族全員慌てて入り、縮こまっていました。入口にはB29が落とす焼夷弾の火の粉が大雨の様に降り注ぎ、生きた心地がしませんでした。またある時は、朝になって外に出てみると、電線に布団や毛布が引っかかっているのを見ました。恐ろしくなって飛んで帰りました。窓にはテープを貼り、カーテンは真っ黒にしました。

やがて国の強制で疎開することになりました。父の実家がある徳島に疎開しました。私たち姉弟は7人で、私は上からも下からも4番目です。上の姉と兄は(小学校5年生、小学校6年生)香川県のお寺に学童疎開していました。そこへ父が迎えに行きました。母は残った子どもたちを連れて、天保山から船に乗り徳島県海部郡牟岐町(むぎ)来に行きました。父の実家です。船は満員で階段に立つまま、小学校2年生の兄が1歳の妹をおんぶし、母は2歳の弟を抱っこしていました。私は子どもながらに、兄が可哀想でたまりませんでした。



川西市の平和モニュメント「瞳(ドウ)」

父の実家には少し世話になっていましたが、すぐ出ました。近くの煙草農家さんの煙草の葉の乾燥室、広さは12畳ぐらい、囲炉裏を作って親子9人がしばらく住んでいました。そうして今度は馬小屋です。子どもながらにつくづく嫌になり、人間に住む家に住みたいと思い、とても悲しかったことを覚えています。その上まともな食事が食べられませんでした。大きな釜に水をたっぷり入れ、米を少し入れてしゃぶしゃぶのお粥です。学校には弁当を持っていかせませんでした。みんなが食べている時は、運動場で姉弟そろって遊んで、時間を潰していました。

1945年(昭和20年)7月のある日、帰宅すると母が悲しい顔をして、妹が亡くなったと言いました。朝生きていたのに。ずっと体調が悪かったそうです。栄養失調でした。母はお乳が出ず、またミルクを買うお金もありませんでした。亡くなった2歳の妹は、戦争の犠牲者です。

私はこの戦争体験を書くことが辛くて、筆がすすみませんでした。本当は忘れてしまいたいのです。でも一方では、忘れては駄目だという心もあり悩みました。そして決心して書いたのがこの手記です。戦争は惨めで辛いものです。

## 「女子挺身隊」

山田 昌 (90歳)

昭和20年、高等女学校(今の中学3年生)の4月末に、「5月からは皆さんはお国の為に女子挺身隊として、工場へ働きに行く事になりました。学生生活は今日までです。」と、それぞれ分担されて皆、別れ別れになりました。名残をおしんで夕やみせまる頃まで学校にいました。淋しい思いでした。私は池田のダイハツ工場へ行く事になり、そして見た事もない施盤工として働く事になりました。バイトとか云う刃物を差し込んで物をけずるのですが、エンピツけずりとちがってなかなかうまく出来なくて困りました。みんな出来ない事ばかり、機械になやまされて大変でした。高射砲の止め金とか？

工場の班長さんからは「みんな、お国の為に戦地で働いている兵隊さんにすまない、こんなペケ物ばかりこしらえて、物資不足の折から何と云う事だ」と叱られました。みんな泣いてしまっ、その時、付きそいで来られていた先生2人が「何年もかかっている施盤工がする仕事をわずか15歳の何も見た事も持った事もない、しかも、女子がそんなにきつくり出来る事がありません、もう少し大目にやさしく見てやってほしい。生徒はなまけてなんかいません。一生懸命にやっついて出来ないのでから。」と云って下さった。皆うれしくて、又泣けてきた。生徒を見守って下さると思うと涙が止まらなかった。それから間もなく終戦になった。

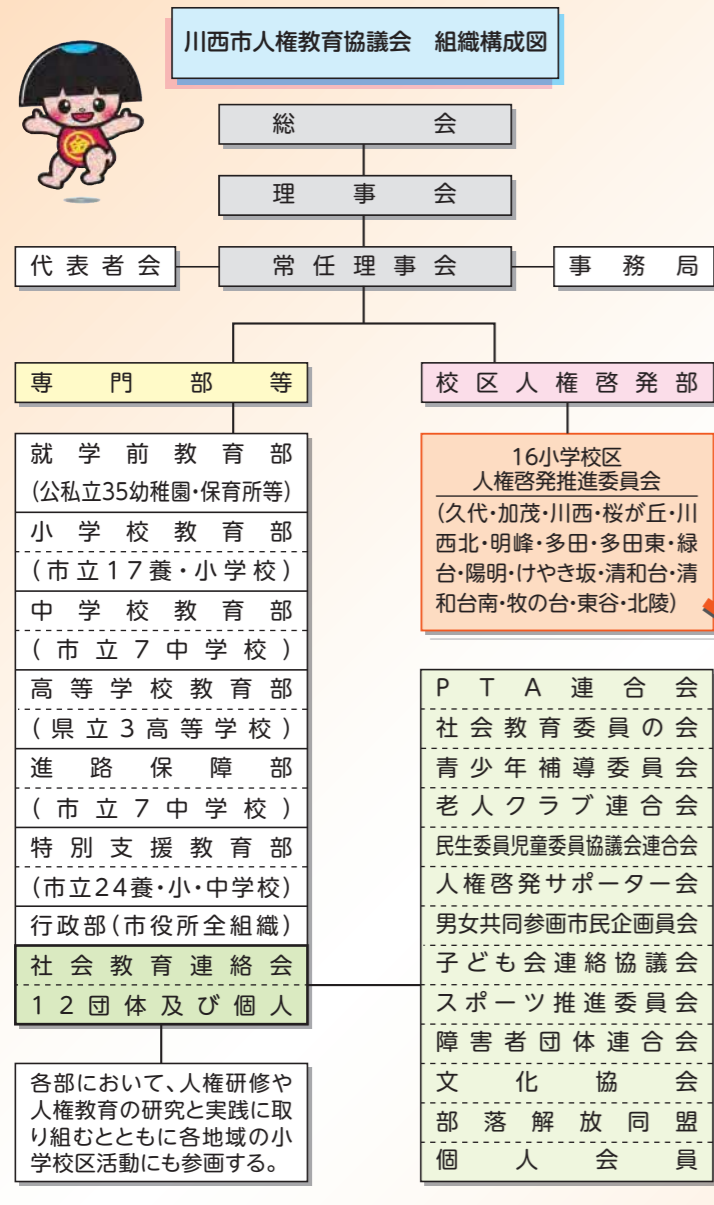
あれからも今年で75年、もうその時の乙女も90才。孫やひ孫と楽しく日を送っていますが、この子供達には、あんなつらい青春を送らなくてもよい、平和が続く日本であってほしいと願っています。

※文章は、応募原稿を尊重し、掲載しています。



## 長崎市への折り鶴奉納について

戦後75年を迎え、7月に市民の皆さんから募集し、平和を祈って折っていただいた折り鶴約8,000羽を、長崎市へ送付し、8月9日の長崎市平和記念公園での平和祈念式典会場の「折鶴の塔」へ奉納させていただきました。  
※写真:長崎市原爆被爆対策部調査課より提供



### 川西市人権教育協議会とは…

川西市人権教育協議会(川西人権協)は、昭和47(1972)年に、川西市同和教育協議会として発足し、「部落差別の解消をめざし、人間尊重に視点をあて、民主社会を確立するために同和教育の推進並びに研究と実践を行うこと」を目的に設立された任意の市民団体です。

平成21(2009)年5月に、名称を現在の川西市人権教育協議会に改称し、活動目的を「部落差別をはじめあらゆる差別の解消をめざし、すべての人の人権が尊重される社会を確立するため、人権教育の推進を図ること」となりました。

組織の構成は、学校教育関係、社会教育関係団体、行政関係や本会の趣旨に賛同する各種機関・団体・個人会員からなり、現在の構成人員は約370人です。

また、連携団体には、阪神地区人権・同和教育研究協議会(阪同教)、兵庫県人権教育研究協議会(兵人教)、全国人権教育研究協議会(全人教)などがあります。

### 小学校区人権啓発推進委員会とは…

市内の16小学校区人権啓発推進委員会は、昭和61(1987)年に、「すべての人々の人権が尊重され、あらゆる差別のない、人権文化豊かな住みよい地域社会を創っていくため、地域と生活に根ざした人権教育・啓発活動を実施する。」ことを趣旨として発足しました。

活動の方針は、「校区内の住民各層に呼びかけ、人権尊重をまちづくりの中に位置づけ、住民共通の課題とする。」とし、組織構成としては、校区内における川西人権協の構成団体、自治会等地域の諸団体、人権擁護委員及び本会の趣旨に賛同または協力する個人会員をもって構成しています。


主な活動としては、住民向けの「人権講座」等の学習会を開催したり、地域の諸行事(文化祭、体育祭等)において人権啓発活動などを行っています。

# 川西市人権行政推進プラン(第3次改定版)

～だれもが幸せを感じるまちをめざして～

今年8月1日より、本市におきまして「パートナーシップ宣誓制度」を導入しました。これは、セクシュアル・マイノリティの人たちの人権尊重のための施策として実施するものです。

下記の文章は、4月1日より改定しました本プランの人権課題への取り組みの中のセクシュアル・マイノリティの項目を抜粋したものです。

※プランの詳細はこちらから▶ 

## 15) セクシュアル・マイノリティ(性的少数者)の人権

### ◆ 現状と課題

「この世の中には女と男の2つの性別しかなく、人は女に生まれれば、だれもが自分は女であるという自覚を持って成長し、異性である男を好きになる。同様に、男に生まれれば、だれもが自分は男であるという自覚を持って成長し、女を好きになる。」



なることで、手続きの際に再確認されるなど、精神的な苦痛を受けることがあるという問題を市職員は認識し、不適切な対応をしないように十分留意してまいります。

私たちの社会は、これが「当たり前」で、「普通」であると考えてきました。こうした「当たり前」「普通」から、はずれているとみなされた人々をセクシュアル・マイノリティ(セクマイ)といい、具体的には、女性同性愛者(レズビアン)、男性同性愛者(ゲイ)、恋愛感情や性的欲求が男女(両性)に対してある両性愛者(バイセクシュアル)、他者に対して恋愛感情や性的欲求を抱かないアセクシュアル、そして、性自認にかかわるトランスジェンダー※、自分の性的指向や性自認がどのようなものであるのか、よくわからない、悩んでいる、迷っている、そして意図的にまだ決めていないというクエスチョニングと呼ばれる人たちがいます。

- 日常生活においてセクシュアル・マイノリティがかかえる困難や不利益が人権問題に他ならないことを認識し、それらの困難や不利益をなくす対応の一つとして、パートナーとしての証明書を発行する「パートナーシップ宣誓制度」の導入に向けて検討します。[注1](#) また、性についての多様なあり方を理解し、多様な個々の生き方を尊重し合える人権教育、人権啓発を推進します。  
..... [注1](#)令和2(2020)年8月1日より導入しました。

海外では、同性どうしの結婚を認める国が増え、国内でもセクシュアル・マイノリティであることをカミングアウト(公表)する人が出てきたりするなど、セクシュアル・マイノリティが少しずつ社会に認知されるようになってきました。しかし、日本では依然としてセクシュアル・マイノリティに対する誤解や偏見は根強く、日常生活においてさまざまな困難や不利益に直面しているセクシュアル・マイノリティが非常に多くいます。

- 学校においては、小中学校のクラスに必ずセクシュアル・マイノリティの児童・生徒がいて、孤立し、悩んでいることを前提とした性教育に取り組むとともに、その親の世代に対する人権啓発に努めます。また、平成28(2016)年文部科学省発出の「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について(教職員向け)」にもとづいた対応に努めます。

とりわけ、自分がセクシュアル・マイノリティであると気づいた小中学生は、正しい知識や情報を持たず、だれにも相談できないまま、セクシュアル・マイノリティである自分を受け入れることができず、一人で悩み続けるというケースが多くあります。



※【トランスジェンダー】トランスジェンダーとは、身体づくりからみた身体の性(生物学的な性)と心の性(性自認=自分は女である、自分は男であるという意識と、その意識にもとづいた言動の一貫性・持続性)が一致していないために持続的な違和感・不快感を持つ人たちをいいます。身体の性と心の性のズレは、トランスジェンダー個人によって様々で、外科的な措置によって、身体の性を心の性に一致させたいと望む人や、一致させた人もいますが、トランスジェンダーすべてが外科的な措置を望んでいるわけではありません。なお、性同一性障害ということばは、身体の性と心の性が一致していないことによって生じる違和感・不快感といった症状を示す診断名で、日本精神神経学会は、平成26(2014)年にこの診断名を「性別違和」に改めました。

トランスジェンダーのうち、外科的措置によって身体の性を心の性に一致させた人たちについては、一定の条件を満たす場合に戸籍の性別記載を変更することを認める「性同一性障害者特例法」が平成16(2004)年に施行されました。しかし、性別変更のための条件が厳しいとの批判があり、特例法は一部改正されましたが、性別適合手術を条件としているなどの問題が指摘されています。

- 総合センターで実施している「セクマイ相談・学習会」においては、だれにも相談できずに一人で悩み続けているセクシュアル・マイノリティが多いことを認識し、「セクマイ相談・学習会」の情報を広く発信し、相談に行きやすい相談窓口の体制を整えてまいります。

### ◆ 今後の方向性

● 本市では、セクシュアル・マイノリティの人権擁護の観点から、平成16(2004)年度と平成22(2010)年度に各種申請書等の公文書について、不必要な性別記載欄を削除していますが、令和元(2019)年「公文書における性別記載欄の見直しに関する指針」を策定し、改めて不必要な性別記載欄を削除しています。特に、戸籍上の性別と見かけの性が異

**「セクマイ相談・学習会」**(※当事者の方がお受けします)

毎月/第1水曜日 13:30~16:00  
 場所/川西市総合センター  
 電話/758-8398

どなたでも  
相談・参加できます。

## 北朝鮮人権侵害問題啓発週間(12月10日~16日)

～北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう～

拉致問題は、我が国の喫緊の国民的課題であり、この解決をはじめとする北朝鮮当局による人権侵害問題への対処が、国際社会を挙げて取り組むべき課題とされる中、この問題についての関心と認識を深めていくことが大切です。

★啓発パネル展示

- 川西市役所 市民ギャラリー…12月10日~16日
- 川西市総合センター…令和3年1月15日~21日

※北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」のDVDの貸し出しをしています。(人権推進課)

## 人権擁護委員による「特設人権相談所」を開設します 無料

■日時/12月7日(月)午後1時~午後4時

■問合せ/人権推進課へ ☎740-1150

■場所/市役所3階 人権推進課相談室など

●日常生活での不当な差別や人権侵害などの相談をお受けします。

●相談には、人権擁護委員が応じます。秘密は守られます。

※特に予約はいりませんが、予約優先とします。

毎月第3金曜日(原則)にも特設人権相談を行っています。

★人権擁護委員とは?

人権擁護委員は、市町村(特別区を含む。)の区域で人権擁護活動を行う法務大臣から委嘱された民間の人たちです。この制度は、地域住民の中から人格見識の優れた人たちを選び、その協力を得て、国民(市民)の日常生活の中で人権尊重思想の普及高揚を図るとともに、人権を擁護していくという考えから設けられたもので、諸外国にその例を見ないものです。

人権擁護委員は、人権擁護について理解のある様々な分野の人たちから選ばれ、現在、全国で約14,000名の方が法務局・地方自治体の職員とともに、人権侵害事件の調査処理、人権相談、人権啓発活動などを行っています。給与、報酬などの支給はなく、任期は3年で、再任は妨げません。現在、川西市では、12名の人権擁護委員が委嘱されています。